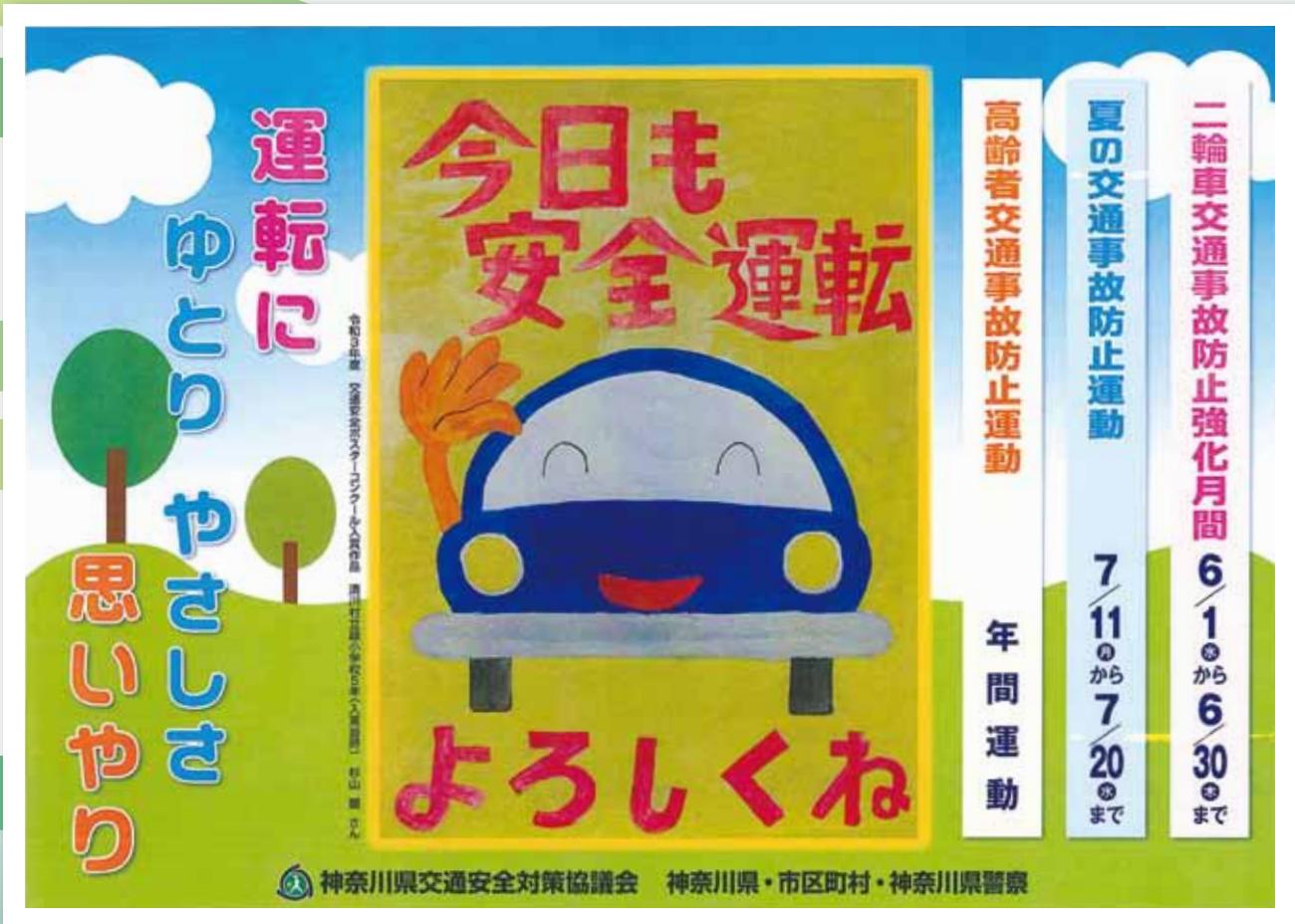


かながわの交通

2022
7月号

交通安全年間スローガン受賞作品（警察庁長官賞）
～一般部門B～ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

自転車も ルールを守る ドライバー



夏の交通事故防止運動等ポスター



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

○県内の交通事故発生概況(令和4年6月末現在) ○県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和4年		10,161	58	11,661
令和3年		10,554	52	12,132
増減数		-393	+6	-471
増減率		-3.7%	+11.5%	-3.9%

	総 数	男	女
県 人 口	9,237,824	4,582,231	4,655,593
免 許 人 口	5,649,202	3,209,770	2,439,432
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	19人に1人

(県人口は令和4年6月1日、免許人口は令和4年5月末現在)



ホームページ

夏の交通事故防止運動の実施について

- 期間 令和4年7月11日(月)～7月20日(水)の10日間
- 目的 夏のレジャーなどに起因する過労運転や、夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することが懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。
- スローガン **交通ルールを守って 夏を楽しく安全に**
- 運動の重点



1 過労運転・無謀運転の防止

- ・ 夏特有の開放感による無謀運転が重大事故につながることを認識しましょう。
- ・ 長距離運転の際は、無理のない計画を立て、途中で休憩を必ず取りましょう。

2 高齢者と子どもの交通事故防止

- ・ 家族とともに、身近な交通危険箇所をチェックし、安全な通行方法等について話し合いましょう。
- ・ 夜間の外出には、目につきやすい「明るい色の服装」や「反射材」を身に付けましょう。

3 自転車の交通事故防止

- ・ 児童や幼児を自転車に乗せるときは、乗車用ヘルメットかぶらせるよう努め、大人も積極的にヘルメットをかぶりましょう。
- ・ 万一の事故に備え、必ず自転車も損害賠償責任保険等に加入しましょう。

4 二輪車の交通事故防止

- ・ ヘルメットやプロテクターを正しく着装し、夜間走行時は、反射材等を有効に活用しましょう。
- ・ 二輪車による無理な追い越しさやめましょう。

最近の交通死亡事故の傾向について

最近の県下交通死亡事故の傾向です。悲惨な交通事故は他人事では無く、自分や家族も巻き込まれる可能性があることから今後の参考としてください。

○ 最近の交通死亡事故の傾向

- ・ 自動車、二輪車、自転車、歩行者等全ての区分で死亡事故が発生しました。
バイクは速度抑制！歩行者は左右の確認を忘れずに！
- ・ 単独事故、車両相互、道路横断中に死亡事故が発生しています。
速度を落として安全・防衛運転を心掛けよう！
- ・ 特に65歳以上で多くの方が亡くなっています。
ベテランのマンネリ・自己過信に注意！歩行者も周囲に気を配りましょう！
- ・ 地域別では県下全域で死亡事故が発生しました。
事故は場所を選びません！
- ・ 時間帯別で見ると昼間、夜間ほぼ全ての時間帯で死亡事故が発生しました。
夜間は速度を落とし、前照灯のロー、ハイを効果的に切り替えて！
- ・ 曜日別で見ると金曜日を除き全ての曜日で死亡事故が発生しました。
安全は全てに優先を！
- ・ 事故を原因別で見ると前方不注視や速度超過が原因の事故が多くなりました。
脇見はしない！漫然運転に注意！スピードを抑えた運転を！

・・・ 二輪車交通事故防止強化月間の実施結果 ・・・

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」「暴走はしないさせない ゆるさない」をスローガンに、二輪車事故防止と暴走族の追放気運を高める運動を県民総ぐるみで推進しました。



(磯子交通安全協会)



(都筑交通安全協会)

二輪車の関係する事故は、6月末現在、発生件数、死者数、負傷者数いずれも減少しました。

6月中、発生件数は前年比同数ですが、死者数、負傷者数は減少しました。

6月末現在の二輪車関係死者数の構成率は、昨年34.6%で、今年は25.8%と減少していますが、全国平均と比べると高い割合を占めています。二輪車は速度を落として防衛運転に徹しましょう。

○ 県内の二輪車交通事故発生状況（概数）

	6月 中			6月 末		
	発生件数	死 者 数	負傷者数	発生件数	死 者 数	負傷者数
令和4年	500	3	443	2,823	15	2,510
令和3年	500	5	461	3,022	18	2,727
増 減 数	±0	-2	-18	-199	-3	-217
構 成 率	27.3%	23.0%	21.6%	27.7%	25.8%	21.5%

※ 構成率は全交通事故件数、全死者数、全負傷者数に占める二輪車事故の割合

○ 最近の暴走族の現状

暴 走 族	令 和 4 年 2 月 末	令 和 3 年 2 月 末	前 年 同 期 比
グルーブ数	13 グループ	18 グループ	-5 グループ
構成員数	643 人	576 人	+67 人

■ 県内グループ数及び構成員の推移

- グループ数最多…… 昭和49年（131グループ）
- 構成員数最多…… 平成4年（約4,800人）
- 構成員の推移…… 構成員は、平成4年をピークに平成17年ころから減少し、平成19年頃からは200人～400人で推移したが、平成30年ころから増加に転じている。
- 近年の特徴…… 暴走族は県内全域に存在しSNS等で繋がり、交友関係は広範囲となって、10人から20人程度の小集団の暴走が目立つが、対立するグループもある。



☆ 地域における様々な取組を通じて暴走族追放の気運を高めましょう ☆

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て

TSマーク貼付自転車安全整備制度推進優秀整備店の表彰（令和3年度中）

サイクルオリンピック

川崎鹿島田店、鶴見中央店、東戸塚店、綱島樽町店、平塚湘南シティ店、今宿店、港北ニュータウン店

ダイワサイクル

幸店、宮前店、川崎野川店



▲ 厚木市役所での寄贈の様子

点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは10店舗が選ばれました。

TSマークについては、これまでの赤色TSマークと青色TSマークに加え、今後付帯保険の保証内容を充実させた緑色TSマークの取扱も開始されます。

各店舗には県協会の小島事務局長等が赴いて、(公財)日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長等に伝達しました。



▲ オリンピック港北ニュータウン店

タックルバンドの寄贈

4月28日公益財団法人神奈川県交通安全協会から厚木市役所協働安全部に反射材タックルバンド1,000本を寄贈しました。

厚木市では、交通事故対策を今年度の重点施策に掲げており、イベント等での啓発物品として活用していただけたとのことです。

身につけよう 命のお守り 反射材

令和3年度 交通安全ファミリー作文コンクール優秀作品の紹介

《小学生の部：優秀作（国務大臣・国家公安委員会委員長賞）》

子どもの「とび出し注意」について

まえだ ゆいか
神奈川県清泉小学校 三年 前田 有衣香

わたしは、4人家族で、3才の妹がいます。妹は、いえの門を出て、急にどうろに、とび出てしまつて、あぶないので、父と一緒に、子どもの「とび出し注意」について近くのけいさつしょに行ってお話を聞きました。けいさつかんの方から、しりょうをいただき、せつ明をしていただいたところ、神奈川県内では子どもの歩行中のじこのげんいんは半分以上がとび出しだることがわかりました。また、一番多いのが、妹のような小さな子どもではなく、7才だそうです。ほとんど車がとおらない道がとくにあぶないとけいさつかんの方が、おっしゃつてました。わたしの家の前は、車がほとんどおらないので、わたしも気をつけるひつようがあると思いました。次に、妹のとび出しによるじこをふせぐために、父に手伝ってもらい「とび出し注意くん」を作りました。まず、図書館に行って「とび出し注意くん」について調べました。全国には様々な「とび出し注意くん」があることがわかりました。男の子だけではなく女の子や、キャラクターなどがありました。わたしは妹と同じ女の子の「とび出し注意くん」をつくることにしました。まずホームセンターに行ってざいりょうをかいいました。木のいたに絵をかき、糸のこぎりで切りぬき、さいごに、ペンキで色をぬりました。糸のこぎりで切るところが、かたくてとてもむずかしかつたです。ペンキで色をぬるところもむずかしかつたです。また、妹がとび出さないように、図書館で交通安全の絵本をかりて、読み聞かせもしました。妹は、「ダメー」や「うけんめ」というなぞいたりゆびをさしたりして聞いていました。そのすがたを見て、道ろにとび出すとあぶないことを分かってくれたのだと思いました。今回行った、「とび出し注意くん」作せいせつちや交通安全の絵本の読み聞かせが妹のとび出しによるじこぼう止に少しでもやく立てればうれしいです。これからも妹と一緒に、交通安全に十分に気をつけて行どうしていきます。

厚木市立清水小学校「令和4年こども自転車校内競技会」が開催されました

【厚木警察署管内交通安全協会】

6月11日(土) 厚木市立清水小学校において、令和4年こども自転車校内競技会が開催されました。大貫交通安全協会副会長から開会が宣言され、笹生交通安全協会会长の挨拶のあと、選手10名による個人戦が始まり、学科テスト、安全走行・技能走行テストが行われました。

競技終了後に成績発表及び講評があり、総合優勝は6年生の野本柚希(ゆずき)さんでした。

選手の皆様はご苦労様でした。来年の県大会、全国大会出場を目指して今後も安全運転をお願いします。



ジグザグ走行試験の模様



大会終了後の記念撮影の様子

交通事故の悲劇に学ぶ ⑩④

●「誤った選択の末」 I・H 会社員（20代）

ある年の5月、その日はバケツをひっくり返したような雨が降っていたのを覚えています。一般的にはゴールデンウイークの最終日ですが、サービス業である私は、連日続いた商談も終わり、ひと仕事終え「ホッ」としている同僚達と軽い打ち上げのようなものをして帰りに、一人の青年の命を奪ってしまいました。

事故現場の周辺には大学がいくつかあり、夜になると酔った学生が歩道から飛び出してくれるという危ない通りで、地元の人は特に気をつけて運転をしています。もちろん、私もこの道をよく知っていますし、この時も歩道を固まって歩いている学生たちを見ながら、「大学生危ないなあ……危ないから飛び出してくれるなよ」と思いながら注視していました。しかし、歩道を気にするあまり逆に前方への注意が疎かになってしまい、スケートボードに乗って車道の前方を進んでいた被害者に気付くのが遅れてしまいました。

そのため、危ないと気付いたときには、もうブレーキは間に合わず、ハンドルを右に切って避けようとしたが、避けきれず車両の左側ですくうようにして撥ねてしまいました。

この時私は、何が起きたのか全く分からず「何故車道に人がいるんだ」などと頭がパニック状態になってしまい、その場に車を止めること無く数百メートルほど車を進めてしまいました。そして、しばらくしてからようやく、人を撥ねてしまったことを理解し、「人とぶつかったのだから助けなければ」と思い直し、現場に戻ることにしました。

現場の近くに車を止め、歩いて現場に向かうと、被害者の周りを数人が取り囲み、「ひき逃げだ」、「白い車だ」という声が飛びかっていました。

それを聞いた私は「もう遅い、もう私はひき逃げ犯なのだ。何もかも失ってしまう」と自分勝手な混乱を起こし、あろうことか現場に到着した警察や救急車を尻目に家に帰ってしまったのです。

家に戻り1時間半程経った後、警察の方が家に車を確認にきました。何があつたのか聞く家族に、私は「人を轢いてしまった、ごめん」と伝え、警察の方には、「私がやりました」と話し、逮捕となりました。



翌日、留置場内で被害者の方が亡くなられたと聞かされ、私は改めて取り返しのつかないことをしました

私の誤った選択は大きく三つあります。一つ目は、疲れがたまっていたうえ、基準値以下ではありました。アルコールが入っていたにもかかわらず運転を始めてしまったことです。二つ目は、自分勝手な思い込みから前方不注意をしてしまったことです。そして三つ目は、被害者を助けず、警察にも伝えること無くその場を立ち去ってしまったことです。

これら一連の選択は、ものの30分以内の判断でしたが、全ての選択を間違え、とても大きな過ちを犯していました。

裁判の結果、私は過失運転致死、道路交通法違反の罪で懲役2年4か月の判決を受け、今は市原刑務所で受刑生活を送っています。

人を殺めるという大きな罪を犯した私がたった2年4か月の懲役刑ですまさされたことで、御遺族の方はさぞかし辛い思いをされていることと思います。

私のこれから的人生は、被害者の方や御遺族のことを第一に考え、癒えることのない苦しみや悲しみを理解することに努め、この過ちを忘れるこなく、償いを続けていきたいと思います。

最後に、この手記を読んでいる皆様が、私と同じ過ちを犯すことなく安全運転を続け、交通犯罪で悲しむ人が世の中から無くなることを心より願っています。そして、私だけでなく、皆さんの中にも「私は大丈夫」といった過信や慢心が潜んでいることを忘れないでください。

～(一財) 東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第56集)」から～

この人 195



吉野英男さん
よしのひでおさん
田浦交通安全協会
会長



田浦交通安全協会は、昭和24年10月に発足し、今年で73年になります。発足当初は会員事業所のご協力を得て、会員事業所事務所内に事務局を置かせていただき業務を行ってきました。昭和30年代に田浦警察署内に事務所を移設し、平成5年に田浦警察署敷地内に2階建て事務所を新築し、現在に至っています。

今回は、田浦交通安全協会現会長である、吉野英男さんを紹介いたします。吉野英男会長は横須賀市の出身で、田浦警察署管内の企業に勤務し、警察の外郭団体である交通安全協会の理事・地域交通安全活動推進員・防犯協会の副会長や、暴力団排除対策推進協議会の会長代行と精力的に警察行政に側面から支援をして来られました。特に暴力団排除対策推進協議会については、協議会立ち上げから参画し、現在の協議会の運営に大きく貢献されました。

また、横須賀市の工業の拠点である、追浜工業団地企業で構成されている追

浜工業会の企画部会長として、工業会と地域の繋がりを深めたいとの事から防犯パトロールの発案がなされて、工業会の会員が順番制で勤務後から4社が2班に分かれて、第4木曜日にパトロールを行う事とし、現在も継続実施しております。また、勤務していた企画の関係から海上保安部との関係も深く、現在では横須賀海上保安部の外郭団体の横須賀地区海上災害等対策協議会の会長も務められております。

交通安全は地域の方々の協力無くしてはあり得ないとの考え方から、地域の行事等に積極的に参画し交通安全を呼びかけております。

常々、企業と地域に自分は育てていたいので微力ながら地域が安全で安心な交通事故の無いまちづくりに貢献して行きたいを口癖に、田浦交通安全協会を引っ張っておられます。

(取材協力：田浦交通安全協会)

ここにちは「大磯地区交通安全協会」です

大磯地区交通安全協会は、大磯町・二宮町を管内とし、白砂青松の相模湾に臨み、温暖な気候と豊富な自然、新鮮な海の幸山の幸に加え、由緒ある歴史・文化に囲まれる恵まれた環境にあります。

両町内には国道1号、西湘バイパス、小田原厚木道路という経済・流通の要衝となる路線が東西に走り、南北には複数の県道が通つて、そこに東西南北から町道が接続し、平日は物流や地域住民の車・バイク、また、土日や休日はこれにレジャーの車が加わって、周辺人口の割に大変交通量の多い地域です。

また、両町ともに先述のような恵まれた環境にある効果か、高齢者が大変多く、令和2年にはそれぞれ34.0%と34.7%だった高齢化率が、令和7~8年には、38.1%、36.0%になると見込まれており、高齢者に対する交通安全啓発は不可欠なものとなっています。

一昨年、昨年、今年と続くコロナ渦で思うよ

うな活動ができることも多々ありますが、高齢者に対する啓発活動は社会活動や、福祉活動、各種



催しの場など多様な機会を活用して行われており、協会役員や交通安全母の会等が中心を担っています。

こういった啓発活動や各種キャンペーンを行うに際しては、毎年新年に管内の神社に協会役員・交通指導員・交通安全母の会などのメンバーが一堂に会して「交通安全祈願」を実施し、士気の高揚と連帯感の育成、地域の交通安全などを願つて、1年をスタートさせることを恒例としています。

今後も、この祈願が実を結び、この地区から事故が無くなるよう、協会一丸となって交通事故防止に取り組んでまいります。

(二梃木 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ =

地区交通安全協会の活動紹介



青葉 村上茉愛さん一日警察署長の交通安全キャンペーン



海老名市 自転車マナーアップキャンペーン



鶴見 JR 鶴見駅東口における交通安全キャンペーン



大磯地区 警察署前国道における交通安全キャンペーン



港 南 港南公会堂前における交通安全キャンペーン



いずみの駅周辺における交通安全キャンペーン



厚木警察署管内 ぼうさいの丘公園キャンペーン



麻 生 新百合ヶ丘駅南口における交通安全キャンペーン

交通安全活動

6

贊助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 横浜トヨペット(株) 横浜市中区山下町
 - 京濱港運(株) 横浜市神奈川区千若町
 - (株)崎陽軒 横浜市西区高島

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。